

サレジオ会員、サレジオ家族の皆様へ

ミャンマーの地震による被害に対する支援の呼びかけ

3月28日、ミャンマーで大きな地震があったことは皆さんもご存知だと思います。死者だけでも3,300人以上(4月5日現在)出ており、日に日に被害の大きさがわかってきています。

今トリノで行われている第29回総会においても、サレジオ会、サレジオ家族として特別な祈りと支援の呼びかけが、新総長ファビオ神父からありました。それ以来、私たちも毎日のミサ、朝晩の祈りなど機会あるごとに祈っています。

総会にはミャンマー準管区から2名(準管区長、代議員)が参加しています。彼らの話を聞いていると、一般に報道されているよりとても大きな被害であるようです。日本でも報道されているように、内戦によって周辺地域に爆弾が落とされているため、田舎の子どもや年寄りの多くは都会に出て行ったそうです。田舎よりもまだ爆弾が落とされる可能性が少ないという理由からです。しかし、それがかえって今回の被害を大きくしました。地震によって街の建物が崩壊して、避難していた多くの子どもや年寄りが亡くなったということらしいです。

すでにお知らせした通り、サレジオ会日本管区は濱口管区長の時から、毎年、支援を続けています。地震が起こったちょうど一ヶ月前の2月28日にも、直接、ボスコ準管区長に支援金をお渡しし、彼はとても感謝しておられました。「このように私たちのことを忘れない人たちがいてくれることが、私たちにとって一番大きな支えと励ましになる」と。

しかし、こうした毎年の支援以外にも、この度の大きな地震によって、今、緊急に支援が必要だと判断しましたので、皆さんに祈りと支援の呼びかけをサレジオ会日本管区としておこないたいと思います。出来る範囲で各事業所、小教区等で祈りと支援金を募っていただけたらと願っております。もちろんすでにカリタス・ジャパンや各教区に協力されているところもあるかと思いますが、まだ送り先を決めていないところなどがありましたら、DBK(ドン・ボスコ基金)を通して、特別に支援しますのでご協力ください。

今回の支援の呼びかけにあたっては、ボスコ準管区長からの動画メッセージもいただいています。ぜひご覧いただき、支援協力にご利用していただけたらと思います。

皆様のお祈りとご協力をよろしくお願い致します。

2025年4月5日(土)
サレジオ会管区長 濱崎敦

注)DBKの具体的な送り先、方法は、後日、管区財務須藤修道士から連絡があります。